

# 小学部だより

筑波大学附属

桐が丘特別支援学校

小学部通信第3号

2015. 5. 29. 発行

暑さと湿度が増してきました。6月には宿泊行事があります。自分の体調を知り、それに合わせて服装を選んだり、水分をとったりできるようになるとよいですね。また、手洗い・うがい、歯みがき、洗顔、お風呂のことなど、練習や工夫を重ねながら、身の回りのことでできることが増えていくとよいですね。



## 合同道徳

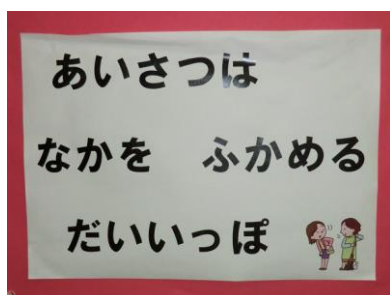
今年度は月に1回程度、1年生から6年生まで一緒に「合同道徳」を行っています。

4月は「あいさつ」について考えました。子どもたちからは、「朝のあいさつで相手が元気かどうかわかる。」「あいさつをすると、知らなかった人とも仲良くなれる。」など、「あいさつ」の本質を理解した発言が数多く出されました。

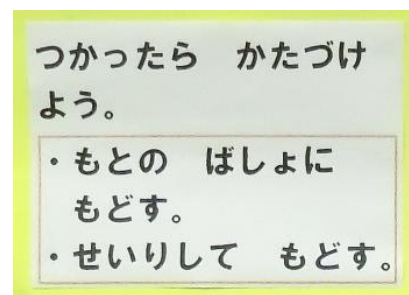
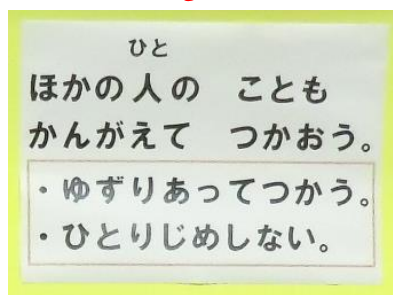
5月は「きまり」について考えました。「きまり」は本来、自治の精神につながるものです。ただ決められているから守るのではなく、自分たちの社会をよりよくするためにはどうすればよいかを考えることに意味があります。共用学習室の物をみんなで気持ち良く使うための「きまり」を自分たちで考え、下の2つにしました。「誰が何をどれくらい使ったかをノートに記入する」という案もありましたが、高学年の子から「そのノートを管理する人が必要になるよ」という意見が出ました。委員会活動の経験などもふまえ、自分たちで運営できるかどうかまできちんと考えていたようです。

合同で行うことで、様々な考え方にふれ、視野を広げ学びを深めるいい時間になっています。

### 「あいさつ」は何のため？



### どんな「きまり」にする？



縦割りグループの様子

